



ご あ い さ つ

晩秋の候 皆さまには益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当金庫は、会員各位をはじめとする地域の皆さまから、より高い信頼と信託をいただくために、ここに平成23年度上半期の経営内容についてご報告申し上げます。

日本経済は、東日本大震災からの復興需要の本格化により回復の途上にあるものの、急速な円高の進行と長期化、米欧経済の減速により、景気の下振れ懸念が高まっています。

また、当地域を含めた地方経済は、東日本大震災の影響が緩やかながら元に戻りつつありますが、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、当金庫は経営理念である「信条」の下、経営の健全性、安定性を高める諸施策を推進して参りました結果、本年9月末の預金残高は、3,716億円となり、前年同月比2.42%増加しましたが、貸出金残高は地域経済を反映して830億円となり、前年同月比0.50%減少しました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率については、65.65%（本年9月末）となって極めて健全な経営体質を堅持しております。

地元の繁栄なくして当金庫の繁栄はありません。今後も地域社会の発展に寄与すべく、役職員一同不断の経営努力を傾注して参る所存でございますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

理 事 長 **増田雅俊**